



八成ハロウィーンで世代を超えた地域交流！！

24日、地域に住む子供達がハロウィーンにちなんだかわいい衣装を身に纏い、ポイントを巡りながらお菓子をもらうイベント「八成ハロウィーン」が開催されました。毎年、恒例となったこのイベント。会場の保育施設「ひととき保育八成」周辺は、子供達のかわいらしい衣装と声で溢れ、地域での世代を超えた交流が深まりました。

乳幼児・幼児の預かり保育を行っている保育施設「ひととき保育八成」で、世代を超えた地域の交流を大切にしようと、ハロウィーンの時期に合わせて行っているのが「八成ハロウィーン」です。この「八成ハロウィーン」は、ハロウィーンにちなんだ衣装に身を包んだ子供達が、周辺地域8か所のポイントを歩いて訪れ、合言葉を言うとお菓子がもらえるというものです。その8か所には、高齢者施設やマンションなどがあり、さまざまな年代の方と交流を深めることができます。



平成21年に始まり、7回目となる今年は、地域の子供達200人とその保護者、高齢者など、合わせて約450名が参加。魔女をイメージした黒いマントやハロウィーンらしいオレンジのとんがり帽子をかぶる子など、思い思いの衣装を纏った子供達は、ポイントが描かれた地図を持ち、親子やスタッフとともにお菓子をもらいに「ひととき保育八成」周辺のポイントを歩いて回りました。

会場の1つである高齢者施設「八成ふれあいの家」では、高齢者が温かく迎え入れ、子供達が「はちなりハロウィーン」や「おかしをくれなきや イタズラしちゃうぞ」などの合言葉を伝えると、クッキーやマシュマロなどのお菓子を、子どもたち1人ひとりに手渡しました。お菓子を手にした子供達は「ありがとう」と嬉しそうにお礼を言って、お菓子を受け取りました。この日、親子で参加したある子供のお父さんは、「子供が生まれてから毎年来ています。こういう催しが地域であると交流が深まっていいですね」と話していました。

【報道機関 問い合わせ先】

ひととき保育八成 電話 03-6915-0233

総務部広報課 電話 03-3312-2111